

小松崎 ふみよし

政策ジャーナル Journal



行動派宣言

KOMATSUZAKI FUMIYOSHI
2020

みなさんの広い意見を募集しております。



ごあいさつ

菅義偉内閣が誕生し、地方議員の経験も活かし、実務派宰相として適切な施政が期待されます。この冬乾燥と冷え込みで、風邪・インフルエンザの流行も懸念されます。インフルエンザも重篤化すれば毎年多くの死者が出ています。感染リスクの高い方々に感染させない様に注意し、軽い症状の出た方、その周辺の方には医療体制のひっ迫を防ぐ為にも入院以外のホテル等への振り分けも考慮すべきです。コロナ禍等で、経済対策、孤独化が進む高齢者や不登校児童・生徒のケアへの対策に努めます。

令和元年 第4回定例会一般質問の要約とねらい。

2020年10月01日

① 感染症拡大抑制について

1. 軽症者のホテルと病院の振り分けは

答：感染症法に基づき保健所が入院措置を行うが、入院加療後に症状が軽快した患者や無症状病原体保有者等、医師判断でホテル等宿泊療養施設に受け入れている。

- ・軽症者はインフルエンザと同程度、なるべく病院ではなくホテルに振り分け、急変を避ける為ホテル巡回を強化すべき。

2. 12月以降コロナ、インフルの区別が困難な患者の対応は

答：インフルエンザやコロナ感染症を臨床的に鑑別することは困難。係りつけ医等で、相談・診療を受けられる体制の整備を県・国に要望。現在千葉県が今冬に向けて医療体制を検討・準備している。

- ・未定ならば保健所、各診療所がパニックを避けられるよう、柔軟な対応が出来る指針づくりを国と県に要望して欲しい。

3. 感染症関連で衛生関連用品供給にマイナンバー活用と必要な運用強化をどう考えているか

答：マスク等を公平、迅速に配布するために、身分証明書を活用した海外の事例は承知している。市民のほとんどが当該証明書を所持していることが必要。マイナンバーカードの普及により当該事例に限らず幅広い活用につながるはず。

- ・整理券を配布した福井県の取り組みは人口が多い本市では困難。例えば当面は普及が進んでいる保険証の、下1桁を活用してもいいのではないかと、外出を省く工夫が必要。

4. コロナ禍等で、孤独化が進む高齢者や不登校児童・生徒の状況を市ではどう捉えているか

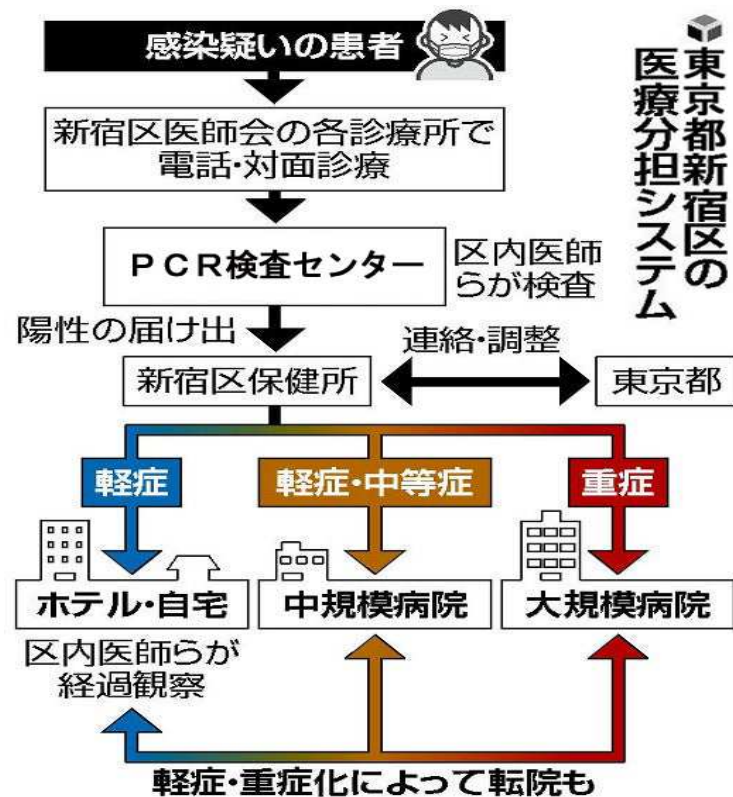
答：昨年より医療・保健相談等は約1.4倍になっている。あんしんケアセンターでは精神不安定・感染症に対する不安を相談者の86%が訴えている。7月以降減少傾向にはあるものの市内の学校で約1,000名もの児童生徒がコロナ感染を理由に欠席している。

- ・感染対策前提の交流奨励が必要。子供達には～がダメではなく外出をしても良い条件の提示と心のケアが必要。

6. スポーツ含む屋内・外での飲食を伴わないイベントの開催条件は

答：参加者が概ね把握できれば人数制限はない。感染防止策チェックリストを活用して開催可能。

- ・大声を発しない、飲食を伴わないイベントは12月から2月の冬季を除いて進めていくべき、但し突発的に感染が拡大した場合、緊急に中止を勧告できる余地は残せばいい。



千葉県・市では未決定。このシステムを提案します。

※ 新宿区議会前議長佐原たけし様のご協力で新宿区に掲載許可を戴いております。

5. 経済を動かす必要がある、地域空洞化防止の為、コロナが一応の収束中、10月1日現在であれば会食の条件は

答：9月以降、6人以下の人数制限が解除。「席の対面を避ける」や、「食事の会話」は控え、会話の際はマスクの着用を努める」をお願いしている。

- ・食事の時は静粛に、それ以外は大声を出さず、会を進めればいいのか。

7. 感染症に関し外出規制の法改正等は必要と考えるか

答：感染拡大防止を図る一方、社会経済活動の維持も重要、両立を図る観点から、外出規制等の強化には慎重な議論が必要。但し爆発的感染拡大の想定下では法改正も含めた議論が必要。

- ・マイナンバーの普及・強化（口座情報のタグ付け等）は必要。ロックアウトに至らなくても公共施設への高体温者入場制限、不足品の転売禁止の即発動を国に要望して欲しい。衛生用品の措置等、都道府県に判断を委ねられた点は県と連携の上措置すべき。

② 生活困窮対策について

1. コロナ感染症の影響による生活保護の申請状況と今後の見通しは

答：4月から8月まで昨年は1,624件、本年が1,583件で41件の減、うち約13%が新型コロナウイルス感染症拡大の影響によるもの。感染症拡大に関連する解雇や雇い止めは引き続き増加、予断を許さない状況。

Point

・**落ち着いているが各種給付金・貸付金効果と思われる。**

2. 生活福祉資金の貸し付け状況と総額、その後の見通しは

答：一時的困窮「緊急小口資金」と収入減「総合支援資金」世帯の貸付状況は、例年は100件、総額は1,100万円程度だった。条件が緩和され申請件数が増大し、4～8月で5,729件、総額は20億5,677万円。特例期間を12月末へ延長、当面同様の傾向が続く。

Point

・**各種給付金・貸付金効果が薄れ、期末倒産増加で生活保護に流れる可能性。今後も国が貸付金延長を措置するのは困難、その際は現物給付も念頭に置くべき。**



③ 避難所運営について

1. 一時避難所として求められる公園の機能とは

答：屋外の感染リスクが少ない公園に避難し、安全な場合は自宅に戻る事も避難所の過密状態を防ぐことになる。

Point

・**一時避難所に市の情報が届き、避難所か自宅か縁故避難、ホテル等民間施設かの判断材料が得られる拠点に。**

2. 特別警報級の台風予報、避難所内感染拡大の何れも脅威、災害時避難所の誘導・振り分け・拡張は

答：分散避難を周知・啓発し、余裕がある避難所を案内。ホテル等民間施設活用も準備中。避難所内のスペースをより広めに確保し、感染症対策も考慮しながら、避難者を受け入れる。

Point

・**感染も危険だが、風速60Mの台風の方がより脅威。ホテル・遊休公共施設も活用し、遠方避難を促し、多少密になっても避難所に誘導を。著しく衛生上問題がある避難者も集住させて対応すべき。**



④ 学校施設について

1. 感染拡大によるトイレ改修計画の影響と加湿器の仕様は

答：工事一時中止や学校夏季休業期間の短縮により、若干遅延が発生。令和8年度までに全校トイレ改修計画は完了見込み。ヒーターレス気化式加湿器を指定し入札の結果、パナソニック製の加湿器導入が決定した。

Point

・**冬の受験もある、加湿器は中学3年生を優先する等、工夫の上計画通り速やかに進めて欲しい。**

⑤ 渋滞緩和について

1. 磯辺茂呂町線整備へ合意形成手法と園生町111号線における2箇所の待避所設置の進捗状況は

答：3自治会連協及び11自治会代表者とバス事業者、学識経験者で「磯辺茂呂町線（園生町地区）みちづくり協議会」を設立、第1回協議会を開催し、意見交換と地元の皆様と合意形成を図っている。昨年度取得した用地を活用し、待避所設置のため、現在工事発注手続きを進めている。

Point

・**待避所、ごみステーション設置も協力戴き、地元の皆さんも感謝している。地域の声は最大限伺い、合意箇所から進め、出来れば地域高規格道路等への格上げも視野に進めて欲しい。**



出入口は広がりましたが、もっと歩道を増やし、車両がすれ違えるよう、**退避所増設**に努めます。

2. 国道16号スポーツセンター付近の渋滞対策は

答：国道16号と交差し、バイパス機能を担う磯辺茂呂町線園生町地区の整備を重点的に進めている。

Point

・**あやめ台団地脇等の造作物が少ない国道16号沿道の土地を活用した左折レーンの設置を国に働きかけるよう要望する。**

小松崎ふみよし・プロフィール * 事務所

昭和45年(1970)4月30日生まれ
稲毛幼稚園卒園(現:評議員)
千葉市立山王小・積橋中学校、
千葉県立千葉北高等学校卒業
(現:同窓会副会長)
法政大学法学部法律学科卒業
(現:校友会千葉中央支部常任幹事)

職歴
衆議院議員うすい日出男秘書10年
公設第一秘書、事務所責任者を歴任
千葉市議会議員(稲毛区選出)4期当選
千葉市議会議長 関東市議会議長会監事
現在
千葉市社会福祉協議会山王地区部会長
千葉市議会議員団長、自民党千葉市青年局長

37地区自治会連顧問(山王中地区)
千葉市少年軟式野球協会顧問
千葉市アーチェリー協会会長
県美容業組合千葉支部顧問
千葉市早朝野球連盟副会長
千葉市ソフトボール協会顧問
千葉市総武リーグ顧問
社会福祉法人愛の園評議員

〒263-0002 千葉市稲毛区山王町112-1
電話:043-424-0001 FAX:043-421-6667
E-mail: info@2344.jp HP URL: 2344.jp
開設時間【水・金】13:30-16:00
(感染症の影響で冬季は改設いたしません
不在時は小松崎本人の携帯に転送)
お問合わせ・ご意見をお待ちしております。